



# おまち

Vol.  
114

2019. 7. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)

8/31(土) 9/23(月祝)

メイン会場 **たくみの里**  
サテライト会場 道の駅「水紀行館」／道の駅「矢瀬親水公園」

花と緑のぐんまづくり 2019 in みなかみ  
ふるさとキラキラフェスティバル

世界が見つめる  
花と緑の水源のまち  
みなかみユネスコエコパーク

Minakami Biosphere Reserve



## 花と緑で彩る水源のまち

- 「花と緑のぐんまづくり2019 in みなかみ～ふるさとキラキラフェスティバル～」の開催!!
- 「花と緑のぐんまづくり2020 in 藤岡～ふるさとキラキラフェスティバル～」のイベントを開催しました!!

【トピックス】安中市は景観行政団体になりました

【投稿】ぐんま乗換コンシェルジュ

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 パートナーネットワーク 講座 受講者募集
- マーチィの独り言

【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介



# 「花と緑のぐんまづくり 2019 in みなかみ ～ふるさとキラキラフェスティバル～」の開催!!

群馬県 県土整備部 都市計画課  
みなかみ町 エコパーク推進課

## ■ふるさとキラキラフェスティバルとは

本フェスティバルは、平成20年に開催された第25回「全国都市緑化ぐんまフェア」の理念を引継ぎ、県民総参加でふるさと「ぐんま」を花と緑にあふれ、活力ある美しい地域にするため、県内各地で毎年開催しているものです。

第11回目を迎える今年はみなかみ町での開催であり、自然豊かな利根川源流のまちを花と緑で彩ります。

## ■開催概要

- ・開催期間 2019年8月31日(土)～9月23日(月・祝)
- ・メイン会場 たくみの里
- ・サテライト会場 道の駅「水紀行館」/道の駅「矢瀬親水公園」

※開催期間中の週末及び祝日には、各種ステージイベントを実施!!

※各会場や町内の沿道を飾花するだけでなく、花と緑のコンテスト、スタンプラリー、フォトコンテスト、花緑体験教室、フィールドアスレチック教室など、多数の催しを開催予定!!

## ■開催テーマ

「世界が見つめる花と緑の水源地のまち“みなかみユネスコエコパーク”」

みなかみ町は利根川の源流に位置し、豊かな自然といにしえより培われた歴史・文化を有しています。そして、町民が自ら「まちづくり」に参画し、自助・互助・共助の志を持って地域の資源を大切に守り暮らししています。このことが世界基準で認められ、平成29年6月に「みなかみユネスコエコパーク」(Biosphere Reserve = BR)に認定されました。

フェスティバルでは、住む人同士や訪れる人がふれあい、花と緑に彩られた町の貴重な資源を「まもり・いかし・ひろめる」ことで「みなかみブランド」を構築し、それを実感できる「まちづくり」を進めていきます。

【まもり】 まもってきた“みなかみの自然”そのものを魅せます。

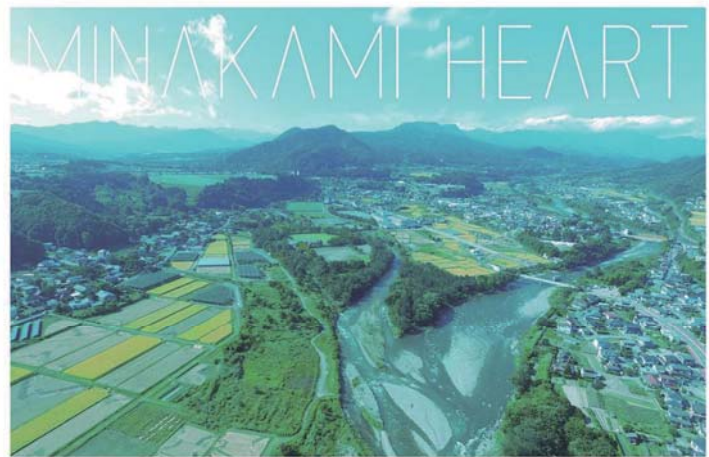
- ◆そばの花・稲穂エリア(たくみの里内)

【いかし】 地域のくらしや自然をいかした飾花を行います。

- ◆地域住民・団体と協働し、最寄駅や温泉街への動線などを飾花

【ひろめる】 週末を中心に様々なイベントを実施し、みなかみ町の資産の素晴らしさを広めます。

- ◆ステージイベント、ウォーキングイベント

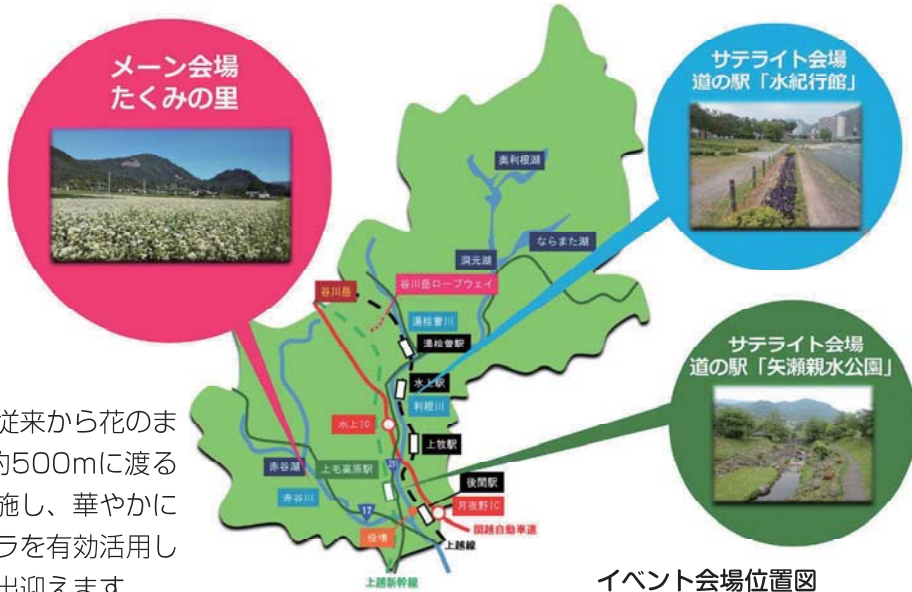




## ■メイン会場について

メイン会場であるたくみの里は、この頃秋そばの花と黄金に穂を付けた稲が広がる里山風景が特徴的なところ。豊楽館北側においては、秋の収穫のお祝いやたくみの里の自然をイメージしたメイン花壇を設置して「みなかみ」らしさを演出し、彩りを加えます。

宿場通り沿いでは、地元住民が従来から花のまちづくりを目指し活動している約500mに渡る既存花壇に変化を持たせた飾花を施し、華やかに演出します。また、地元で出るワラを有効活用した迫力あるワラアートが来場者を迎えます。



イベント会場位置図



黄金に輝く稲穂



里山に広がる秋そばの花



華やかな宿場通り

## ■メイン会場以外について

2つのサテライト会場においても、それぞれ趣向の異なる特設花壇を設けます。その他、月夜野I.C.からたくみの里へ向かう国道17号沿いでは、県内農業関係高校が育てた花苗を使い、地元の利根商業高校の生徒により作られた、約500mのフラワーロードが来場者を迎えてくれます。

また、湯原温泉街においても、地元住民の方と協働して飾花を計画しています。



今年の干支「イノシシ」のワラアート

## ■イベント等について

例年実施している「花緑体験教室」や「花と緑のコンテスト」を今回も実施します。「花と緑のコンテスト」では、例年とは開催時期が異なるため、一味違った作品が見られると思いますので、お楽しみください。現在、出展者の募集を行っておりますので、興味のある方は是非ご応募ください(詳しくはHPをご覧ください)。

さらに、みなかみ町で開催しているフォトコンテストにおいて、本フェスティバル開催記念特別企画として「花とみなかみ」をテーマとした部門を作成しました。Instagramでの応募も可能ですので、お手持ちのスマートフォンで気軽に撮影・応募し、受賞を目指してみたいはいかがでしょうか？

みなさんの力作により、是非みなかみを彩ってください。お待ちしております。

また、次期開催地 藤岡市のららん藤岡において、inみなかみPR花壇を設置しています。みなかみ町の自然あふれる風景を切り取ったようなとてもきれいな仕上がりとなっておりますので、ららん藤岡に立ち寄る機会がありましたら是非ご覧ください。



ららん藤岡に設置したみなかみPR花壇

## ■花と緑のぐんまづくりHPについて

ここでは紹介しきれない情報も数多くありますが、詳細は以下HPに随時掲載していきます。是非、アクセスしてみてください。

花と緑のぐんまづくりHP <https://www.hanatomidori.net/>





# 「花と緑のぐんまづくり2020 in 藤岡～ふるさとキラキラフェスティバル～」のイベントを開催しました!!

藤岡市 都市建設部 都市施設課

今年開催予定のみなかみ町の後を継いで、2020年春には藤岡市にて本フェスティバルが開催されます。それに先立ち、2019年4月27日～5月19日にかけて県内初の大型イベントが、メイン会場をふじの咲く丘、サテライト会場を藤岡市中心市街地・道の駅らん藤岡・旧鬼石中学校体育館跡地として藤岡市で実施されました。

3月下旬～4月中旬には、会場の花壇作りや道沿いに飾るハンギングバスケットやプランターの作成を実施しました。天気にも恵まれ、各種団体や幼稚園児、保育園児など大勢のボランティアのご協力により、色鮮やかな花が咲き誇る花壇等を作ることができ、花を通じて交流も深められたことと思います。

4月27日にはふじの咲く丘にてオープニングセレモニーが開催され、関係者ら約200人が参加し、東中学校吹奏楽部による演奏やくす玉割りなどで盛り上がりました。会場作りを手伝っていただいた市民ボランティアや園児の皆さんから、イベントへの思いや感想などが語られ、会場は暖かい拍手に包まれました。また、オープニングセレモニー終了後には、花苗の無料配布が実施され、多くの人が花苗を受けとり、笑顔を見せていました。

イベント期間中には、歌やダンス、お笑いライブ、太鼓の演奏などのステージイベント、花の体験教室、地元グルメや花苗の無料配布、春の全国交通安全運動、カラオケ大会などが行われ、花と緑に包まれた会場の中で、様々な世代の人を楽しませていました。

ご協力いただいた皆様のおかげをもちまして、イベントとしては過去最大規模のイベントとすることができました。

来年の本番に向けて、イベントの内容も踏まえ、より素晴らしいイベントにしていきたいと考えています。



花壇作り(ふじの咲く丘)



花壇作り(古桜町広場)



オープニングセレモニー



花緑体験教室



# 安中市は景観行政団体になりました

安中市 建設部 都市整備課

平成31年4月1日より安中市は景観行政団体になり、景観まちづくりに向けた取り組みをおこないます。

## ■目的

安中市は、群馬県の西部に位置し、市内西部に碓氷峠、南部に妙義山を有し、中央部には碓氷川及び九十九川が東西に流れるなど、豊かな自然に恵まれています。碓氷峠は日本書紀に碓日坂<sup>うすひのさか</sup>として詠まれるほど歴史が古く、めがね橋として知られる碓氷第三橋梁をはじめとする旧碓氷峠鉄道施設は国指定重要文化財となっています。また、見る場所によって形を変える妙義山は日本三大奇景の一つとされ、風光明媚な景色が広がっています。その他にも、江戸時代には板鼻・安中・松井田・坂本と、中山道の4つの宿場町が整備され、碓氷関所が設けられるなど、交通路が集中する要衝の地であり、古くから街道のまちとして栄えてきました。また、安中藩の城下町としても知られており、多くの歴史・文化が継承されています。これらの特色ある景観資源の保全と活用、さらには新たな景観形成を推進し、地域の魅力を向上させるべく、安中市景観計画及び安中市景観条例を策定します。

## ■景観まちづくりの推進

安中市の景観計画と景観条例は、市民・事業者・行政が景観まちづくりに一緒に取り組むための共通の指針となります。地域が主体となって景観資源を発掘し磨くことを契機として、豊かな生活空間が創られることを目指します。また、景観まちづくりの効果として、交流の促進による観光客、来訪者や宿泊客の増加、生活環境の魅力向上による市民の地域への愛着・満足度アップ、景観資源を活かした商品開発、ブランド化も挙げられます。

## ■景観計画策定にむけて

第2次安中市総合計画で掲げたまちの将来像「みんな元気でいきいき暮らせる市民総働のまちあんなか」や、都市計画マスタープランで定めた都市整備分野の共通目標である「豊かな自然と歴史に包まれて穏やかな暮らしが営まれ、いきいきとした交流が育まれるまちあんなか」を目指すなど、上位計画や関連計画との整合・調和を図りながら策定を進めます。

本年度の取り組みとしては、地区別懇談会や景観勉強会の開催、郵送やWEBによるアンケートを実施するなど、住民の考えを伺いながら景観形成に向けた基本方針を定めていきます。



妙義山と田園風景



碓氷関所跡



碓氷峠鉄道文化むら



旧安中藩郡奉行役宅



# ぐんま乗換 コンシェルジュ

群馬県  
公式

----- 公共交通・観光・健康情報アプリ -----

群馬県 県土整備部  
交通政策課

平成31年3月28日に、公共交通・観光・健康情報アプリ「ぐんま乗換コンシェルジュ」がリリースされました。

「ぐんま乗換コンシェルジュ」は鉄道・路線バスを利用した経路検索機能のほか、観光・イベント情報やオススメ観光モデルコースに加え、ウォーキング・トレッキングコースも案内しており、健康づくりをサポートします。「ぐんま乗換コンシェルジュ」は観光モデルコースやウォーキング・トレッキングコースと連動した経路検索も可能であり、県内の鉄道・路線バスを利用した観光や健康づくりにうってつけのアプリです。

そんな「ぐんま乗換コンシェルジュ」ですが、誕生のきっかけは県内の「バス情報オープンデータ化」事業にあります。平成28年に経路検索サービス大手各社における県内バス路線の掲載状況を調べたところ、掲載率は14~64%とまちまちであり、一般的に使われる経路検索アプリ・サイトでは、県内のバス情報は一部しか案内されない状況でした。一部の情報に基づく経路検索では、検索結果のバスを待っている間に、検索に漏れたバスが通過してしまうなど、アプリの信頼性を損なうこととなり、バス利用につながらないと考えました。内閣府が実施した「公共交通に関する世論調査」(平成28年12月)によると、インターネット等の経路検索サービスを使って交通手段を調べる人は4割を超えており、経路検索サービスで全てのバス情報が正確に表示されないと、バスが存在しないと認識され兼ねない状況にあります。

そこで交通政策課では、県内のバス情報を「標準的なバス情報フォーマット」(平成29年3月に国土交通省作成)で集約して誰でも使える形で公開する「オープンデータ化」を行うことで、県内のバス情報を、Googleマップをはじめとした経路検索アプリ・サイトに普及させる取組を行いました。そして、平成30年12月26日に、都道府県単位では全国初となる県内全バス路線のオープンデータ化を実現し、既にGoogleマップなどでも活用されています。さらに、あらゆる経路検索サービスに先駆け、オープンデータ化したバス情報を使った経路検索サービスとして「ぐんま乗換コンシェルジュ」を開発し、同時に市町村窓口などでの「ぐんまバス乗換コンシェルジュ宣言」を行い、スマホが使えない人への案内も含め、公共交通の利用促進を図りました。

「ぐんま乗換コンシェルジュ」はリリースされてから約5,000回ダウンロードされており、既に多くの方に御利用いただいております。これを機に是非とも「ぐんま乗換コンシェルジュ」を使って群馬の鉄道・バスを乗りこなし、公共交通を使った観光や健康づくりに取組んでみてはいかがでしょうか。なお、本アプリはダウンロード無料です。





# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
「地元がヤバい…と思ったら読む 凡人のための地域再生入門」  
木下 斉(著) ダイヤモンド社



今号のおすすめ  
ライブラリー  
こちら!



本書は「・・・地域再生入門」と手引書を思わせる題ですが、実は小説、作者が高校の時から関わってきた地域再生の経験をもとに書かれた本です。

物語は大学進学時に地方都市から東京に出て、そして就職をして10年の主人公が、母の依頼で実家の後片付けに度々地元に戻るようになってところから始まります。高校時代の友人たちに再会する中、地元で飲食店を経営する友人から、「実家を無くしてしまうより、そこを活かしてみないか」という誘いに応じた「実家の再生」をきっかけに、地域の再生に取り組んでいきます。その課程で湧き上がる難問、課題に向き合い、また、仲間たちとの関係に悩み、そして行政や補助金に頼らず進めていく持続可能な地域の再生・・・。

作中挿入されている多くの注釈、コラムは、まさに題名にある「凡人」とっては興味深く、「地域再生」に関心のある人もない人も気軽に手に取れる本だと思います。

☆この本に関連して、以前「おっ!! まっちゃん~」103号で紹介された、『町の未来をこの手でつくる 紫波町オガールプロジェクト 猪谷千香著』を併せて読むのも面白いかもしれません。

## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

邑楽町役場 小林 弘幸



小林弘幸さん(上段右から3番目)



講座の様子

平成30年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました邑楽町の小林です。現在は、人事交流派遣で群馬県都市計画課に来ています。

講座受講時は、都市計画に関係する職場に移動したばかりで、まちづくりの事もファシリテーターの意味すらよく分からないまま、1回目の講座に望みました。講座はグループワークを基本とした実践的なものになっており、毎回出される課題を時間内に完成させなければなりません。しかし、講師の方をはじめ

事務局の方々の雰囲気づくりのおかげで、明るい声と美味しいお菓子が飛び交う楽しい講座となっています。ファシリテーターとして、タイムスケジュールの管理、グループの人への目配せや意見を引き出す技術は、直ぐに身につくものではないですが、仕事で会議や組織の運営をマネジメントする上でも必要な技術です。ファシリテーターの基礎から徐々に学ぶことができるこの講座は、マネジメント技能を勉強する上でも良いきっかけになると思います。

また、まち歩きを通して群馬県内の色々なまちの様子を実際に肌で感じながら学び、様々な職場や年齢の方と意見交換や交流できる貴重な機会でもあるので、少しでも興味がある方は是非「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加してみてください。

## マーチィの掲示板

### 令和元年度パートナーネットワーク講座受講者募集中!

今年も「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を開催します。この講座は、住民主体のまちづくりを推進していく上で、参加者の意思統一を図るために用いられる手法「ワークショップ」の技法を習得し、まちづくりリーダーを育成しようとするものです。

実践的な講座の中で、まちづくりに必要な知識・技術を楽しみながら学ぶことができます。

市町村職員の方はもちろん、まちづくり団体等でまちづくりを実践している方など、是非参加してみてください!



【入門編(県庁)】  
8月28日(水)・29日(木)  
【発展編(甘楽町)】  
10月25日(金)・26日(土)  
【応用編(桐生市)】  
11月29日(金)・30日(土)

参加申込は、各市町村都市計画課を通じて、群馬県都市計画課まちづくり室企画推進係までお願いします。



群馬県 まちづくりリーダー

検索





# まちづくりイベント情報



## 沼田市田舎体験ツアー そば打ち編

良質なそば粉の産地である沼田市。本格的な道具を使ったそば打ち体験と自ら打ったそばの試食が出来ます。体験後は市内観光スポットへご案内します。沼田の良さを味わってみませんか？

■7月23日(火) 10:00~

■沼田市内(参加人数により場所を決定。沼田市内在住者20組限定)

【お問い合わせ先】

7月2日(火)申込締め切り  
沼田市経済部観光交流課  
シティセールス推進室  
TEL 0278-23-2111



## ぐんまこどもの国生き物博

夏休みの特別企画として、ふれあい工房のホールにぐんまこどもの国に生息する生き物の展示やふれあいコーナーなどのブースを設けます。

■7月26日(金)~7月28日(日) 10:00~15:00

■ぐんまこどもの国ふれあい工房ホール

【お問い合わせ先】

群馬県立金山総合公園  
(ぐんまこどもの国)  
公園管理事務所  
TEL 0276-22-1448



## 赤煉瓦倉庫実験活用「平成の玉村町の風景 —玉村宿重点景観形成ゾーン—写真展

歴史資産を生かしたまちづくりに取り組んでいる「まちづくり玉村塾」では、赤煉瓦倉庫で写真展と玉村宿をめぐるスタンプラリーを開催します。

■7月27日(土)~7月28日(日)

(7月27日)13時~18時(7月28日)13時~17時

■赤煉瓦倉庫(玉村町大字下新田 604-1)

【お問い合わせ先】

まちづくり玉村塾事務局  
玉村町生涯学習課文化財係  
TEL 0270-30-6180



## 第35回新里まつり

戦隊ヒーローショー、八木節、タレントのエンタメライブなど。約3,000発の花火で締めくくります。

■8月15日(木) 14:00~21:20(予定)

■新里総合グラウンド(桐生市新里町新川3069)

【お問い合わせ先】

桐生市新里支所  
地域振興整備課  
産業振興係  
TEL 0277-74-2217



## 第32回くろほね夏まつり

地元有志が企画する八木節中心の夏まつりです。16日昼は子供を対象にますのつかみどり、夜は迫力満点の花火大会でフィナーレとなります。

■8月15日(木)~8月16日(金)

■黒保根運動公園

【お問い合わせ先】

桐生市黒保根支所  
地域振興整備課  
TEL 0277-96-2113



## キャンドルナイト

毎年テーマを決め、キャンドルでテーマに沿った絵を描き出します。他にもマジックショーや水ヨーヨーのプレゼントなども開催予定。ぐんまこどもの国でスローな夜を楽しんではいかがでしょうか。

■8月18日(日) 19:00~20:00

■ぐんまこどもの国  
エントランス広場

【お問い合わせ先】

群馬県立金山総合公園  
(ぐんまこどもの国)  
公園管理事務所  
TEL 0276-22-1448



## とねふるさと風のまつり

伝統的な祭りを中心に模擬店舗が多数出店する交流イベント。夜には約3000発の花火が打ち上げられる。

■8月18日(日)

開催: 13:30~ 花火: 20:00~

■老神多目的広場

【お問い合わせ先】

沼田市利根町観光協会  
TEL 0278-56-2111



## 岩櫃城忍びの乱・岩櫃城忍び登山

日本最大級の忍者コレクションの展示や「岩櫃山」を舞台に真田の忍が山を駆け登る「岩櫃城忍び登山」も同時開催。忍びの郷へお越しください。

■8月18日(日) 10:00~16:00

■東吾妻町コンベンションホール周辺

【お問い合わせ先】

岩櫃城忍びの乱  
実行委員会  
TEL 0279-70-2110



## 2019おうら祭り

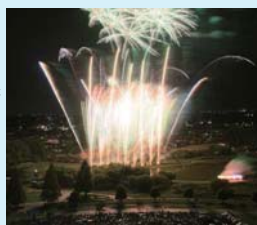
内容盛りだくさんで、華麗な打ち上げ花火も間近で観覧できます。

■8月18日(日) 10:00~20:45

■メイン会場 おうら中央多目的広場

【お問い合わせ先】

おうら祭り  
実行委員会事務局  
邑楽町役場商工振興課  
TEL 0276-47-5026



## おしらせ

### ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム

「生き物から学ぶコンパクトなまちづくり~成人病化する都市とおりあう~」と題して、筑波大学システム情報系社会工学域 教授の谷口守氏による講演を行います。参加には事前に申込みが必要です。

■日時: 7月9日(火)

13:30~16:00

■会場: 群馬会館ホール  
(前橋市大手町二丁目1-1)

【申込み・問い合わせ先】

群馬県都市計画課  
TEL 027-226-3665



**帝京大学** 経済学部 観光経営学科  
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識をあわせ持った人材を育成します

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

**八王子キャンパス オープンキャンパス 2019 日程**

7月13日(土)・7月14日(日)  
8月4日(日)・8月18日(日)  
9月22日(日)

詳細はホームページをご確認ください。

八王子キャンパス広報グループ  
お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359  
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp>

## まち'sクリの独り言



「令和」になって早二ヶ月、読者の皆様 いかがお過ごしでしょうか。あっという間に夏を感じる暑さになったクリね。そんな暑い季節にぴったり、「花と緑のぐんまづくり」がみなかみ町で8月31日~9月23日に開催されるクリ。楽しいイベント満載だからみんな行くクリよ♪イベントへの参加はもちろん、パートナーネットワーク講座の受講者を募集しているので、みんなの参加待ってるクリよ♪令和も「おっ!! まちっい~」をよろしくお願ひしますクリ~。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>